



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

平成28年1月28日

上場会社名 日立金属株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5486 URL http://www.hitachi-metals.co.jp/
 代表者 (役職名) 執行役社長 (氏名) 高橋 秀明
 問合せ先責任者 (役職名) コミュニケーション部長 (氏名) 南 達也 TEL 03-6774-3077
 四半期報告書提出予定日 平成28年2月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（アナリスト・機関投資家向け）

(百万円未満四捨五入)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績（平成27年4月1日～平成27年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	772,898	7.9	79,200	38.0	77,727	25.8	55,977	14.9	55,583	16.3	48,913	△34.1
27年3月期第3四半期	716,351	—	57,376	—	61,775	—	48,738	—	47,801	—	74,265	—

本ページ以外では「親会社の所有者に帰属する四半期利益」を「親会社株主に帰属する四半期利益」と表示しています。

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	129.99	—
27年3月期第3四半期	111.78	—

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率	1株当たり親会社 所有者帰属持分
	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第3四半期	1,060,181	513,662	503,971	47.5	1,178.66
27年3月期	1,083,450	476,176	466,359	43.0	1,090.64

本ページ以外では「親会社の所有者に帰属する持分」を「親会社株主持分」と表示しています。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	10.00	—	13.00	23.00
28年3月期	—	13.00	—	—	—
28年3月期（予想）	—	—	—	13.00	26.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成28年3月期の連結業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,040,000	3.5	100,000	18.5	97,000	12.3	68,000	△3.6	159.03

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 一社、除外 一社 （社名）上海日立電線有限公司
（注）詳細は添付資料4ページ「(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
② ①以外の会計方針の変更：無
③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期3Q	428,904,352株	27年3月期	428,904,352株
② 期末自己株式数	28年3月期3Q	1,323,580株	27年3月期	1,303,157株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期3Q	427,584,643株	27年3月期3Q	427,637,633株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく要約四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は様々な要因によって予想値と異なる場合があります。前記の予想に関する事項については、添付資料4ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更	4
3. 要約四半期連結財務諸表	5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	5
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	7
要約四半期連結損益計算書	7
要約四半期連結包括利益計算書	8
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	9
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 継続企業の前提に関する注記	12
(6) セグメント情報	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、先進国を中心とした緩やかな成長が続きましたが、新興国経済の減速により先行き不透明感が増大しました。米国は家計支出に支えられた回復が続き、欧州でも全体としては緩やかな回復を続けました。新興国・資源国においては、中国経済が一層減速感を強めていることや資源価格の下落の影響を受け、成長ペースが鈍化した状態が続きました。こうした中、わが国経済は、輸出・生産面に新興国経済減速の影響が出るなど、足踏み状態となりました。

当社グループの関連業界では、自動車は、米国の需要は堅調に推移しましたが、国内は軽自動車の在庫調整が長引いたほか、中国や新興国の一部地域でも需要が減少しました。鉄鋼は、軽自動車の減産の波及やアジア需給の悪化とそれらに伴う在庫調整を背景に生産量の減少が続きました。国内住宅着工は持ち直しましたが、公共投資は減少しました。エレクトロニクス関連では、パソコンやエアコンの販売不振等により需要が減少しました。

このような状況のもと、当第3四半期連結累計期間における当社グループの業績は、2014年11月10日付での Waupaca Foundry, Inc. の連結子会社化等による影響もあり、前年同期に比べ売上収益は、7.9%増の772,898百万円、営業利益は、21,824百万円増の79,200百万円となりました。営業利益の増加は、売上総利益は減少したものの、主にその他の収益として、日立ツール株式会社(現 三菱日立ツール株式会社)の発行済株式総数の51%に相当する株式を三菱マテリアル株式会社に2015年4月1日付で譲渡したこと等により、事業再編等利益30,232百万円を計上したことによるものです。税引前四半期利益は、前年同期比15,952百万円増の77,727百万円、親会社株主に帰属する四半期利益は、前年同期比7,782百万円増の55,583百万円となりました。

セグメントの業績は次のとおりです。各セグメントの売上収益は、セグメント間の内部売上収益を含んでおりません。

高級金属製品

当セグメントの売上収益は、前年同期比5.5%減の183,130百万円となりました。また、セグメント利益は、2015年4月1日付で、日立ツール株式会社(現 三菱日立ツール株式会社)の株式を譲渡したことに伴う事業再編等利益25,931百万円を計上したこともあり、前年同期比20,656百万円増加し、46,783百万円となりました。

特殊鋼については、工具鋼は、中国、ASEAN向けが減少しましたが、国内向けは自動車向け金型材が堅調に推移し、また高付加価値品への製品構成シフトが進んだ結果、前年同期並みの水準を確保しました。産業機器材料は、海外向けのその他産業部材は堅調に推移しましたが、自動車関連材料の一部で調整が継続したため、前年同期比で減少しました。航空機関連材料およびエネルギー関連材料については、堅調な需要動向が続いたことに加え、2015年3月期第2四半期連結会計期間から日立金属MMC スーパーアロイ株式会社が連結子会社となったことに伴う業績反映もあり、大幅に増加しました。電子材料は、ディスプレイ関連材料、半導体等パッケージ材料とも前年同期を下回りました。

ロールについては、各種ロールは輸出の伸長により増加しました。射出成形機用部品は、大型機向け需要を中心に堅調に推移し前年同期並みとなりました。

アモルファス金属材料については、主要市場である中国向けの減少により、前年同期比で下回りました。

磁性材料

当セグメントの売上収益は、前年同期比10.0%減の91,631百万円となりました。また、セグメント利益は前年同期比4,725百万円減少し、6,813百万円となりました。

マグネットについては、希土類磁石は、電動パワーステアリングおよびハイブリッド自動車向けなどの自動車用電装部品の需要が堅調に推移しましたが、産業機器および家電関連の需要が減少したことから前年同期を下回りました。フェライト磁石は、自動車用電装部品および家電用部品の需要が国内、海外ともに堅調に推移し増加しました。

軟質磁性材料およびその応用品については、フェライト応用品は太陽光発電用部品向けが減少し、フェライトコアも中国向け需要の減速の影響を受け低調となりました。ファインメットは自動車用電装部品向けの需要減、およびエアコンの生産調整により減少しました。

高級機能部品

当セグメントの売上収益は、前年同期比56.6%増の276,893百万円となりました。また、セグメント利益は前年同期比7,858百万円増加し、18,453百万円となりました。

自動車用鋳物については、2014年11月からWaupaca Foundry, Inc. が連結子会社となったことに伴う業績反映により、自動車用鋳物全体として、前年同期比で大幅増加となりました。耐熱鋳造部品は、年度前半に一時的な需要調整がありましたが、年度後半から欧州市場に加えて北米市場向けも増加し、前年同期比で増加しました。アルミホイールは、米国を中心に好調に推移し、前年同期比で増加しました。

配管機器については、鋳物継手類は、国内向けは減少しましたが、北米市場が好調だったことにより、全体としては前年同期並みとなりました。ステンレスおよびプラスチック配管機器は、国内需要が踊り場にあり、前年同期比で減少しました。

電線材料

当セグメントの売上収益は、前年同期比10.8%減の219,204百万円となりました。また、セグメント利益は前年同期比3,631百万円減少し、12,615百万円となりました。

電線については、事業ポートフォリオ見直しに伴い売上収益が減少しましたが、注力分野である鉄道車両用電線が海外市場向けを中心に大きく伸長し、医療用プローブケーブルも堅調でした。

自動車部品においては、北米を中心に自動車の旺盛な需要が続き、電装部品、ブレーキホースとも好調に推移したため、前年同期比で増加しました。

情報システムについては、通信事業者の設備投資の調整が継続し、ネットワーク機器、ワイヤレスシステムとも低調に推移し、前年同期を下回りました。

その他

当セグメントの売上収益は、前年同期比9.3%減の3,096百万円となりました。また、セグメント利益は216百万円減少し、13百万円の損失となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、営業活動の結果得られた資金が投資活動並びに財務活動で使用した資金を上回ったことにより、前連結会計年度末に比べ26,698百万円増加し、105,727百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

（営業活動に関するキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、63,048百万円となりました。これは主に四半期利益が55,977百万円あったこと等によるものです。

（投資活動に関するキャッシュ・フロー）

投資活動に使用した資金は、9,114百万円となりました。これは主に日立ツール株式会社（現 三菱日立ツール株式会社）の発行済株式総数の51%に相当する株式を、三菱マテリアル株式会社に2015年4月1日付けで譲渡したこと等により、有価証券等の売却による収入が29,581百万円あったこと、一方で有形固定資産の取得による支出が40,000百万円あったこと等によるものです。

（財務活動に関するキャッシュ・フロー）

財務活動に使用した資金は、25,569百万円となりました。これは主に長期借入債務の償還が17,543百万円、配当金の支払いが11,388百万円あったこと等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間の業績は、おおむね予想どおり推移しました。中国経済減速や為替の円高等、不透明感が強まっていますが、平成28年3月期（平成27年4月1日～平成28年3月31日）の通期業績予想につきましては、2015年10月27日公表の予想数値に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第3四半期連結累計期間において、上海日立電線有限公司の一部持分を譲渡したため連結の範囲から除外しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

該当事項はありません。

3. 要約四半期連結財務諸表

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2015年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2015年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び現金同等物	79,029	105,727
売上債権	220,547	194,598
棚卸資産	166,486	159,792
その他の流動資産	49,989	45,773
小計	516,051	505,890
売却目的で保有する資産	28,569	—
流動資産合計	544,620	505,890
非流動資産		
持分法で会計処理されている投資	24,892	36,457
有価証券及びその他の金融資産	18,411	24,726
有形固定資産	299,669	305,015
のれん及び無形資産	160,269	159,310
繰延税金資産	15,918	13,754
その他の非流動資産	19,671	15,029
非流動資産合計	538,830	554,291
資産の部合計	1,083,450	1,060,181

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2015年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2015年12月31日)
負債の部		
流動負債		
短期借入金	32,039	32,785
償還期長期債務	29,235	30,344
その他の金融負債	30,765	23,879
買入債務	178,614	158,750
未払費用	41,986	36,680
前受金	2,520	2,540
その他の流動負債	4,955	8,113
小計	320,114	293,091
売却目的で保有する資産に関する負債	10,264	—
流動負債合計	330,378	293,091
非流動負債		
長期債務	194,076	176,282
その他の金融負債	2,415	2,121
退職給付に係る負債	63,007	58,419
繰延税金負債	11,540	10,887
その他の非流動負債	5,858	5,719
非流動負債合計	276,896	253,428
負債の部合計	607,274	546,519
資本の部		
親会社株主持分		
資本金	26,284	26,284
資本剰余金	115,805	115,806
利益剰余金	277,856	322,592
その他の包括利益累計額	47,519	40,434
自己株式	△1,105	△1,145
親会社株主持分合計	466,359	503,971
非支配持分	9,817	9,691
資本の部合計	476,176	513,662
負債・資本の部合計	1,083,450	1,060,181

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

(要約四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2014年4月1日 至 2014年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2015年4月1日 至 2015年12月31日)
売上収益	716,351	772,898
売上原価	△564,503	△625,625
売上総利益	151,848	147,273
販売費及び一般管理費	△92,926	△93,076
その他の収益	9,923	33,839
その他の費用	△11,469	△8,836
営業利益	57,376	79,200
受取利息	691	457
その他の金融収益	4,672	333
支払利息	△2,098	△2,635
その他の金融費用	—	△72
持分法による投資損益	1,134	444
税引前四半期利益	61,775	77,727
法人所得税費用	△13,037	△21,750
四半期利益	48,738	55,977
四半期利益の帰属		
親会社株主持分	47,801	55,583
非支配持分	937	394
四半期利益	48,738	55,977
1株当たり親会社株主に帰属する四半期利益		
基本	111.78円	129.99円
希薄化後	—	—

(要約四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2014年4月1日 至 2014年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2015年4月1日 至 2015年12月31日)
四半期利益	48,738	55,977
その他の包括利益		
純損益に組み替えられない項目		
その他の包括利益を通じて測定する 金融資産の公正価値の純変動額	△146	△773
確定給付制度の再測定	836	—
持分法のその他の包括利益	1,265	△70
純損益に組み替えられない項目合計	1,955	△843
純損益に組み替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	22,706	△5,939
キャッシュ・フロー・ヘッジの公正価値 の純変動額	△299	655
持分法のその他の包括利益	1,165	△937
純損益に組み替えられる可能性のある項 目合計	23,572	△6,221
その他の包括利益合計	25,527	△7,064
四半期包括利益	74,265	48,913
四半期包括利益の帰属		
親会社株主持分	72,810	48,769
非支配持分	1,455	144
四半期包括利益	74,265	48,913

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第3四半期連結累計期間(自2014年4月1日至2014年12月31日)

(単位:百万円)

	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	その他の 包括利益 累計額	自己株式	親会社 株主持分 合計	非支配 持分	資本の部 合計
2014年4月1日	26,284	115,591	215,603	15,749	△1,010	372,217	10,623	382,840
変動額								
四半期利益	—	—	47,801	—	—	47,801	937	48,738
その他の包括利益	—	—	—	25,009	—	25,009	518	25,527
親会社株主に対する 配当金	—	—	△8,553	—	—	△8,553	—	△8,553
非支配持分に対する 配当金	—	—	—	—	—	—	△506	△506
自己株式の取得	—	—	—	—	△85	△85	—	△85
自己株式の売却	—	2	—	—	4	6	—	6
連結範囲の変動	—	—	—	—	—	—	4,876	4,876
利益剰余金への振替	—	—	249	△249	—	—	—	—
その他	—	—	—	—	—	—	47	47
変動額合計	—	2	39,497	24,760	△81	64,178	5,872	70,050
2014年12月31日	26,284	115,593	255,100	40,509	△1,091	436,395	16,495	452,890

当第3四半期連結累計期間(自2015年4月1日至2015年12月31日)

(単位:百万円)

	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	その他の 包括利益 累計額	自己株式	親会社 株主持分 合計	非支配 持分	資本の部 合計
2015年4月1日	26,284	115,805	277,856	47,519	△1,105	466,359	9,817	476,176
変動額								
四半期利益	—	—	55,583	—	—	55,583	394	55,977
その他の包括利益	—	—	—	△6,814	—	△6,814	△250	△7,064
親会社株主に対する 配当金	—	—	△11,118	—	—	△11,118	—	△11,118
非支配持分に対する 配当金	—	—	—	—	—	—	△270	△270
自己株式の取得	—	—	—	—	△40	△40	—	△40
自己株式の売却	—	1	—	—	0	1	—	1
連結範囲の変動	—	—	—	—	—	—	—	—
利益剰余金への振替	—	—	271	△271	—	—	—	—
その他	—	—	—	—	—	—	—	—
変動額合計	—	1	44,736	△7,085	△40	37,612	△126	37,486
2015年12月31日	26,284	115,806	322,592	40,434	△1,145	503,971	9,691	513,662

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2014年4月1日 至 2014年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2015年4月1日 至 2015年12月31日)
営業活動に関するキャッシュ・フロー		
四半期利益	48,738	55,977
四半期利益から営業活動に関するキャッシュ・フローへの調整		
減価償却費及び無形資産償却費	27,857	32,098
減損損失	193	301
持分法による投資損益(△は益)	△1,134	△444
金融収益及び金融費用(△は益)	△3,265	1,917
事業構造改革関連費用	540	3,039
事業再編等損益(△は益)	△3,108	△29,841
退職給付制度改訂損	2,367	—
法人所得税費用	13,037	21,750
売上債権の増減(△は増加)	22,583	22,315
棚卸資産の増減(△は増加)	△14,015	3,241
未収入金の増減(△は増加)	314	1,036
買入債務の増減(△は減少)	△8,572	△18,692
未払費用の増減(△は減少)	△1,828	△2,858
退職給付に係る負債の増減(△は減少)	△225	△4,442
その他	△6,564	△3,994
小計	76,918	81,403
利息及び配当金の受取	959	1,194
利息の支払	△2,372	△3,086
事業構造改革関連費用の支払	△1,048	△2,922
外国付加価値税の還付	1,731	—
法人所得税等の支払	△13,455	△13,541
営業活動に関するキャッシュ・フロー	62,733	63,048
投資活動に関するキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得	△28,427	△40,000
無形資産の取得	△2,884	△3,108
有形固定資産の売却	1,155	978
有価証券等(子会社及び持分法で会計処理されている投資を含む)の取得による収支(△は支出)	△87,338	△1,570
有価証券等(子会社及び持分法で会計処理されている投資を含む)の売却による収支(△は支出)	3,090	29,581
事業の譲渡	9,678	1,694
事業の譲受	△1,900	△1,399
その他	△2,112	4,710
投資活動に関するキャッシュ・フロー	△108,738	△9,114

(単位:百万円)


	前第3四半期連結累計期間 (自 2014年4月1日 至 2014年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2015年4月1日 至 2015年12月31日)
財務活動に関するキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減(△は減少)	△8,900	3,401
長期借入債務による調達	123,923	—
長期借入債務の償還	△87,033	△17,543
配当金の支払	△8,553	△11,118
非支配持分株主への配当金の支払	△506	△270
自己株式の取得	△81	△40
自己株式の売却	2	1
財務活動に関するキャッシュ・フロー	18,852	△25,569
現金及び現金同等物に係る為替変動による影響	6,714	△1,667
現金及び現金同等物の増減(△は減少)	△20,439	26,698
現金及び現金同等物の期首残高	92,911	79,029
現金及び現金同等物の期末残高	72,472	105,727

(5) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報

I それぞれの報告セグメントに含まれる主な製品・サービスは以下のとおりであります。

報告セグメント	主要製品
高級金属製品	高級特殊鋼 [YSSヤスキハガネ]（工具鋼、電子材料<ディスプレイ関連材料、半導体等パッケージ材料>、産業機器材料<自動車関連材料、航空機関連材料、エネルギー関連材料>、剃刀材および刃物材）、精密鑄造品、各種圧延用ロール、射出成形機用部品、構造用セラミック部品、鉄骨構造部品、アモルファス金属材料 [Metglas®]
磁性材料	マグネット（希土類磁石 [NEOMAX®]、フェライト磁石、その他各種磁石およびその応用品）、軟質磁性材料（ソフトフェライト、ナノ結晶軟磁性材料 [ファインメット®]）及びその応用品、アモルファス金属材料 [Metglas®] 応用品、情報通信機器材料・部品、医療機器用材料・部品
高級機能部品	自動車用鑄物（高級ダクタイル鑄鉄製品 [HNM®]、輸送機向け鑄鉄製品、排気系耐熱鑄造部品 [ハーキュナイト®]）、アルミホイール [SCUBA®]、その他アルミニウム部品、自動車用鍛造部品、設備配管機器（  印各種管継手、ステンレスおよびプラスチック配管機器、冷水供給機器、精密流体制御機器、密閉式膨張タンク）
電線材料	電線（電力・産業システム、電子・通信材料、電機材料、工業用ゴム部品）、自動車部品（電装部品、ブレーキホース）、情報システム（情報ネットワーク、ワイヤレスシステム）

II 前第3四半期連結累計期間(自2014年4月1日至2014年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他	合計	調整額	要約四半期 連結 損益計算書 計上額
	高級金属 製品	磁性材料	高級機能 部品	電線材料	計				
売上収益									
外部顧客への売上収益	191,194	101,741	176,566	245,355	714,856	1,495	716,351	-	716,351
セグメント間の内部売上収益	2,556	57	294	277	3,184	1,918	5,102	△5,102	-
計	193,750	101,798	176,860	245,632	718,040	3,413	721,453	△5,102	716,351
セグメント利益	26,127	11,538	10,595	16,246	64,506	203	64,709	△7,333	57,376
金融収益	-	-	-	-	-	-	-	-	5,363
金融費用	-	-	-	-	-	-	-	-	△2,098
持分法による投資損益	-	-	-	-	-	-	-	-	1,134
税引前四半期利益	-	-	-	-	-	-	-	-	61,775

(注) 1. セグメント利益は営業利益で表示しております。

2. セグメント間取引は独立企業間価格で行っております。セグメント利益の「調整額」には主として報告セグメントに帰属しない全社の一般管理費が含まれております。

III 当第3四半期連結累計期間(自2015年4月1日至2015年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他	合計	調整額	要約四半期 連結 損益計算書 計上額
	高級金属 製品	磁性材料	高級機能 部品	電線材料	計				
売上収益									
外部顧客への売上収益	182,897	91,616	276,887	219,181	770,581	2,317	772,898	-	772,898
セグメント間の内部売上収益	233	15	6	23	277	779	1,056	△1,056	-
計	183,130	91,631	276,893	219,204	770,858	3,096	773,954	△1,056	772,898
セグメント利益又は損失(△)	46,783	6,813	18,453	12,615	84,664	△13	84,651	△5,451	79,200
金融収益	-	-	-	-	-	-	-	-	790
金融費用	-	-	-	-	-	-	-	-	△2,707
持分法による投資損益	-	-	-	-	-	-	-	-	444
税引前四半期利益	-	-	-	-	-	-	-	-	77,727

(注) 1. セグメント利益又は損失は営業利益で表示しております。

2. セグメント間取引は独立企業間価格で行っております。セグメント利益又は損失の「調整額」には主として報告セグメントに帰属しない全社の一般管理費が含まれております。